



うちのイチ押し!

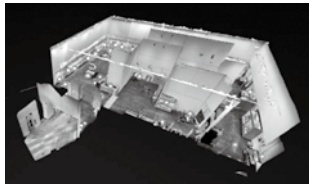
# オンラインで楽しむミュージアム

大阪市立自然史博物館



## 特別展「大阪アンダーグラウンド」をバーチャルで楽しむ!

自然史博物館では、おうちで楽しめるコンテンツをまとめた「おうちミュージアム」を公開しています。今年の6月に終了した特別展「大阪アンダーグラウンド」の3D画像も公開中。展覧会場の全景から会場の中に入っていく。展示室の中をクリックしながら探検していけば、学芸員お手製のトンネルの中をくぐれたり、学芸員による展示の解説をリンク先の動画で見たりできます。拡大したり、途中で止めたり、何度も見たり、自分のペースでご覧いただけます。「おうちミュージアム」では、今後もコンテンツを増やしていく予定です。ご期待ください。



特別展会場の全景から会場の中に入っていく。



3D画像には、○のマークが随所であり、○印をクリックすると、解説が見られる。

住所 〒546-0034 東住吉区長居公園1-23  
電話 6697-6221 FAX 6697-6225  
HP <http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>

大阪市立東洋陶磁美術館



## 世界に誇る陶磁器コレクションを おうちで鑑賞してみよう!

東洋陶磁美術館では、自然光での展示など、独自の方法で展示している世界的に評価の高いコレクションや7月に閉幕した特別展「黒田泰蔵」・特集展「柿右衛門-Yumezurasセレクト」を3Dバーチャル展示アーカイブとしてスマホ・PCからご覧いただけます。

また、館長と専門家の方々との、対談動画もお見逃しなく。

この機会に、やきものの美しさにおうちから触れてみてはいかがでしょうか。



3Dバーチャル展示アーカイブ



対談「黒田泰蔵の白磁を語る」



3Dバーチャル展示アーカイブ(コレクション展)

住所 〒530-0005 北区中之島1-1-26  
電話 6223-0055 FAX 6223-0057  
HP <https://www.moco.or.jp>



おおさか

## 歴史探訪

159

大阪の史跡や歴史資料を毎月連続でご紹介します。

## がま 蒲の穂ゆかりの地 — 城東区蒲生 —

まだまだ暑い日が続きますが、秋になってくると川沿いなどで背の高い野草があつて、ソーセージのような筒状の茶色の穂が生えているのを目にすることがあります。これはがまという名前です。城東区の蒲生はそれが地名のもとになったともいわれています。

この辺りは市内の中心部を南北にのびる上町台地の北東側にあつて、「河内低地」と呼ばれるところに含まれます。縄文時代には海でしたが徐々に陸地となつていった、どちらかという低湿だった地域です。蒲生の地名は古くは中世の文書にもあるといわれますが、江戸時代にはがまが地域の名産品となつていました。江戸時代後期の『ごないさんぶつずえ五畿内産物図会』ではこの地域のがまが長く美しく、特産であつたことが記されています。がまはその茎が敷物や建築の材料等に、穂の綿毛は布団等に、根の部分はでんぷんを食用にとさまざまな利用されました。その花粉は乾燥させると漢方薬の蒲黄となります。『古事記』や昔話にある「因幡の白兔」でもサメに毛をむしられたウサギを大国主命が蒲の穂で治療しています。

現在は蒲生のあたりは建物が立ち並び、がまがはえる様子は見ることはできませんが、近くには寝屋川が流れ、古堤街道や社寺など、水郷としての面影も残されています。その一角にある古民家を利用したレストランの壁にはゆかりの地を示した顕彰パネルも設置されています。これからの季節、水郷の地をしのびながら散策を楽しんでみてはいかがでしょうか。

(大阪市教育委員会事務局 文化財保護課)



蒲の穂ゆかりの地のパネル(城東区蒲生3丁目)